

専門・認定看護師会ニュースレター

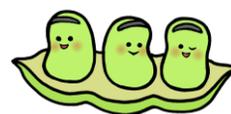
2023年12月に **腎不全看護認定看護師** の資格を取得しました、
腎センター所属の **大森真由美** です。よろしくお願いします。



慢性腎臓病（CKD）って？



腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下する（**eGFRが 60 ml /分/1.73m²未満**）か、タンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態を言います。末期腎不全に陥ると、腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植、保存的腎臓療法〔CKM〕）の選択や準備、実施が必要になります。CKDの患者さんは**20歳以上の約7人に1人**いると推計され、『**新たな国民病**』ともいわれています。



腎不全看護認定看護師として

CKDのステージや発達段階に応じた、その人らしい生活の継続に必要な支援を、多職種と協働しながら実践していきます。病気があっても健康的に安定した生活が営めるよう介入することにより、患者の治療・療養生活の継続や生命予後・QOLの向上を支援します。そして、患者が治療と生活を両立し、最期まで尊厳をもって人生を全うすることを支えていきたいと考えています。

主な活動内容

血液透析・腹膜透析

透析療法における至適透析の実現を目指します。また、透析療法を受けながらも、その人らしい生活を送れるよう支援しています。

療法選択外来

どの腎代替療法（RRT）を選択するか、患者の生活や価値観を大切に、意思決定を支援しています。

CKD看護外来

保存期CKD患者に対し、セルフマネジメントの支援や意思決定支援を行っています。

教育・相談

腎不全や透析療法に対する勉強会、患者介入に関する相談業務を行っています。

CKD、血液透析、腹膜透析、CKMについてなど、
困ったことや相談があればいつでもお気軽にご連絡ください！

連絡先
PHS：8920